

令和4年度 第2回  
令和4年7月9日（土曜日）

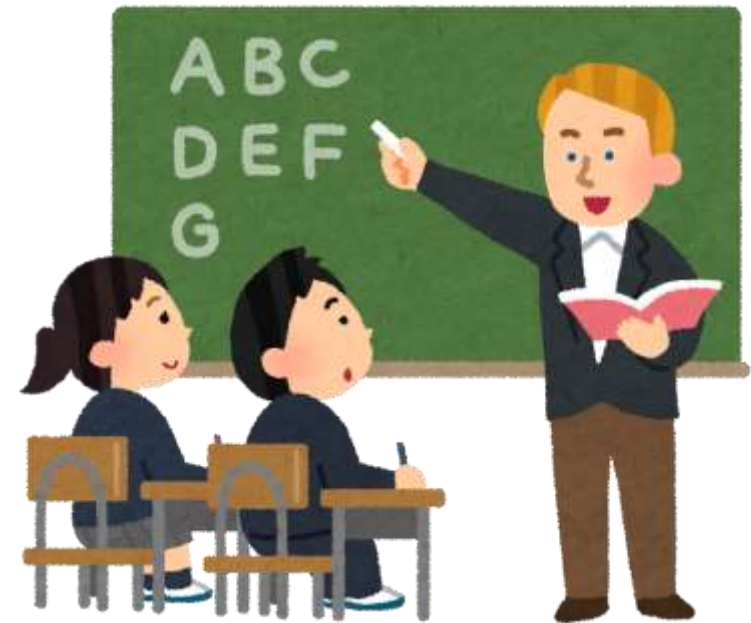
# 校長「語らいサロン」

テーマ 「これからの外国語教育について」



## ICE BREAK 「自分の受けた英語の授業」

- 自己紹介（お子さんの学年・お名前）
- 自分の受けた英語の授業や英語学習についての思い出



# 外国語（英語）教育の変化

保護者の皆さんが教わってきた英語の授業と  
どうかわってきているのか？

## 【英語教育に関わる、国の最近の動向】

- 2011年（平成23年）小学校5，6年「外国語活動」スタート
- 2014年（平成26年）12月「**グローバル化に対応した英語教育改革実施計画**」
- 2017年（平成29年）小学校新学習指導要領告示
- 2018年（平成30年）小学校3，4年「外国語活動」5，6年「外国語」移行期間
- 2021年（令和2年）小学校5，6年・教科「外国語」（週2時間）3，4年「外国語活動」（週1時間）開始

# 外国語（英語）教育の変化

## グローバル化に対応した英語教育改革実施計画

初等中等教育段階からグローバル化に対応した教育環境づくりを進めるため、小学校における英語教育の拡充強化、中・高等学校における英語教育の高度化など、小・中・高等学校を通じた英語教育全体の抜本的充実を図る。  
2020年(平成32年)の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、新たな英語教育が本格展開できるように、本計画に基づき体制整備等を含め2014年度から活発な改革を推進する。

### 1. グローバル化に対応した新たな英語教育の在り方

#### ○小学校中学年：活動型・週1～2コマ程度

- ・コミュニケーション能力の素地を養う
- ・学級担任を中心に指導

#### ○小学校高学年：教科型・週3コマ程度

- (「モジュール授業」も活用)
- ・初歩的な英語の運用能力を養う
- ・英語指導力を備えた学級担任に加えて専科教員の積極的活用

※小・中・高を通じて一貫した学習到達目標を設定することにより、英語によるコミュニケーション能力を確実に養う

※日本人としてのアイデンティティに関する教育の充実(伝統文化・歴史の重視等)

#### ○中学校

- ・身近な話題についての理解や簡単な情報交換、表現ができる能力を養う
- 授業を英語で行うことを基本とする

#### ○高等学校

- ・幅広い話題について抽象的な内容を理解できる、英語話者とある程度流暢にやりとりができる能力を養う
- ・授業を英語で行うとともに、言語活動を高度化(発表、討論、交渉等)

### 2. 新たな英語教育の在り方実現のための体制整備(平成26年度から強力に推進)

#### ○小学校における指導体制強化

- ・小学校英語教育推進リーダーの加配措置・養成研修
- ・専科教員の指導力向上
- ・小学校学級担任の英語指導力向上
- ・研修用映像教材等の開発・提供
- ・教員養成課程・採用の改善充実

#### ○中・高等学校における指導体制強化

- ・中・高等学校英語教育推進リーダーの養成
- ・中・高等学校英語科教員の指導力向上
- ・外部検定試験を活用し、県等ごとの教員の英語力の達成状況を定期的に検証
- ※全ての英語科教員について、英検準1級、TOEFL iBT 80点程度等以上の英語力を確保

#### ○外部人材の活用促進

- ・外国語指導助手(ALT)の配置拡大、地域人材等の活用促進(ガイドラインの策定等)
- ・ALT等向けの研修強化・充実

#### ○指導用教材の開発

- ・先行実施のための教材整備
- ・モジュール指導用ICT教材の開発・整備

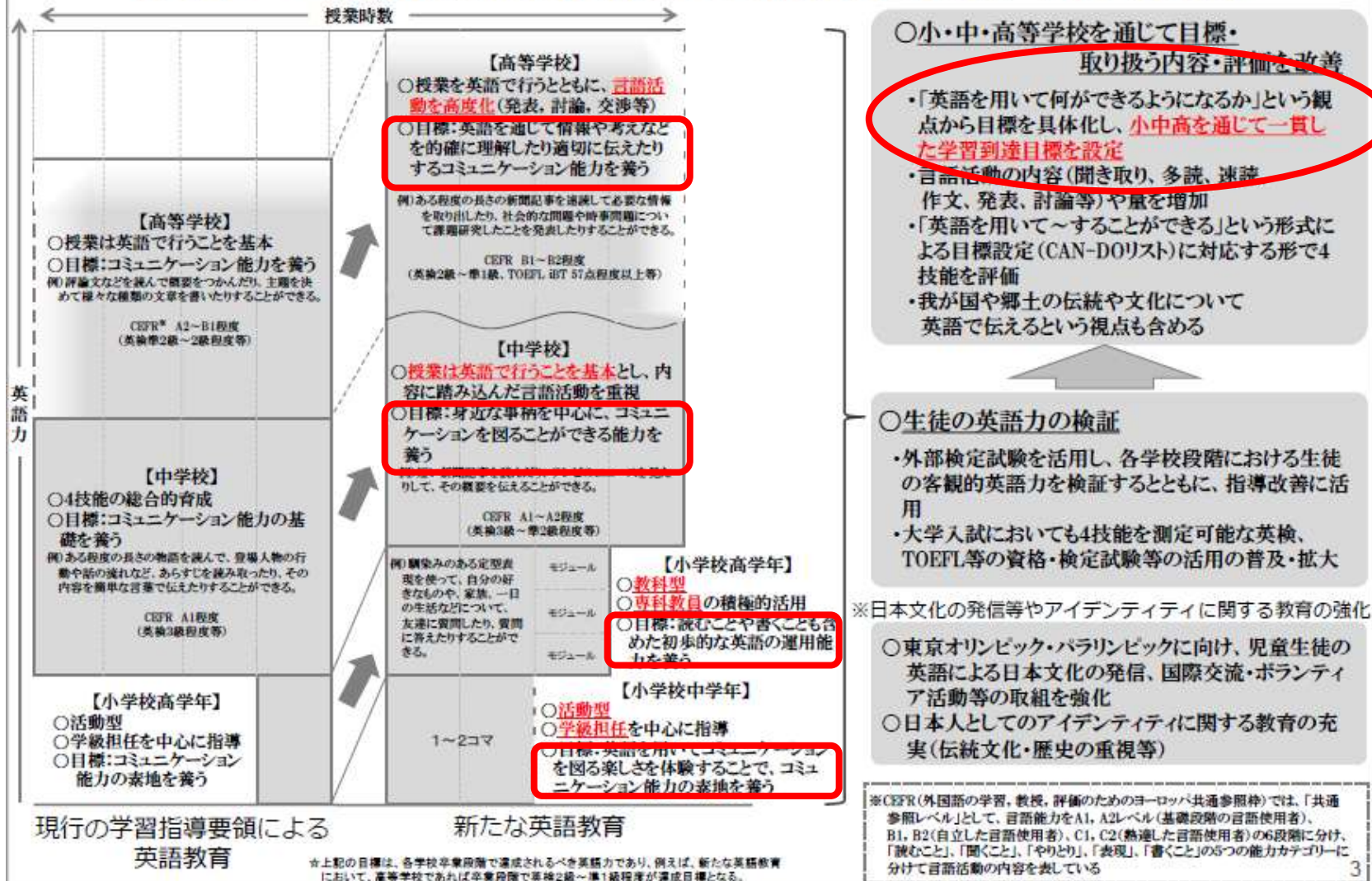
小・中・高の各段階を通じて英語教育を充実し、生徒の英語力を向上(高校卒業段階で英検2級～準1級、TOEFL iBT57点程度以上等)  
→外部検定試験を活用して生徒の英語力を検証するとともに、大学入試においても4技能を測定可能な英検、TOEFL等の資格・検定試験等の活用の普及・拡大

### 3. スケジュール(イメージ)

- 2014年1月頃 有識者会議設置
- 2014～2018年度 指導体制の整備、英語教育強化地域拠点事業・教育課程特例校による先取り実施の拡大
- 中央教育審議会での検討を経て学習指導要領を改訂し、2018年度から段階的に先行実施
- 東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせて2020年度から全面实施

# 外国語（英語）教育の変化

## 1. グローバル化に対応した新たな英語教育の目標・内容等(案)



○小・中・高等学校を通じて目標・**取り扱う内容・評価を改善**

- ・「英語を用いて何ができるようになるか」という観点から目標を具体化し、**小中高を通じて一貫した学習到達目標を設定**
- ・言語活動の内容(聞き取り、多読、速読、作文、発表、討論等)や量を増加
- ・「英語を用いて~することができる」という形式による目標設定(CAN-DOリスト)に対応する形で4技能を評価
- ・我が国や郷土の伝統や文化について英語で伝えるという視点も含める

○生徒の英語力の検証

- ・外部検定試験を活用し、各学校段階における生徒の客観的英語力を検証するとともに、指導改善に活用
- ・大学入試においても4技能を測定可能な英検、TOEFL等の資格・検定試験等の活用の普及・拡大

★上記の目標は、各学校卒業段階で達成されるべき英語力であり、例えば、新たな英語教育において、高等学校であれば卒業段階で英検2級~準1級程度が達成目標となる。

# 「実際のコミュニケーションを行う言語活動」とは？

NT: How are you?

Sts: I'm sleepy. / I'm hungry. (などの返事)

JT: *Good.*

(この“Good.”は、教師が児童が英語の模範的な解答の文として「正しい」と言っている。オーセンティックな発話なら Didn't you sleep well last night?/Didn't you eat breakfast? など)

JT: OK. Look at this picture. Repeat after me. "I like apples."

Sts: *I like apples.*

(イタリック体の部分は、「コミュニケーションのため」の発話ではない。)

# 外国語（英語）教育の変化

熟練した 言語使用者  Proficient English User	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しつかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。
自立した 言語使用者  English Independent User	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の 言語使用者  English Basic User	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

# 外国語（英語）教育の変化

各資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省（平成30年3月）

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230   200			9.0   8.5				
C1	199   180	3299   2600	1400   1350	8.0   7.0	400   375	800	120   95	1990   1845
B2	179   160	2599   2300	1349   1190	6.5   5.5	374   309	795   600	94   72	1840   1560
B1	159   140	2299   1950	1189   960	5.0   4.0	308   225	595   420	71   42	1555   1150
A2	139   120	1949   1700	959   690		224   135	415   235		1145   625
A1	119   100	1699   1400	689   270					620   320

→は各級合格スコア

※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

○ 表中の数値は各資格・検定試験の定める試験結果のスコアを指す。スコアの記載がない欄は、各資格・検定試験において当該欄に対応する能力を有していると認定できないことを意味する。

※ ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定及びGTECは複数の試験から構成されており、それぞれの試験がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められている。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられているCEFRの判定が行われる。

※ TOEIC L&R/ TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。

※ 障害等のある受験生について、一部技能を免除する場合等があるが、そうした場合のCEFRとの対照関係については、各資格・検定試験実施主体において公表予定。



# 小学校外国語活動・外国語の「今」

- 5, 6年 教科「外国語（英語）」 **コミュニケーションの基礎**

指導者 (教科) 担任 + Native Teacher Ms. Darla Cornett

週2時間 (年間70時間) 聞く、話す (やりとり、発表)、読む、書く (4技能5領域)

教科書 啓林館 **Blue Sky elementary 5,6**

評価 教科として3段階観点別評価

- 3, 4年 「外国語活動」 **コミュニケーションの素地**

指導者 担任 + Native Teacher Ms. Darla Cornett

週1時間 (年間35時間) 聞く、話す

主要教材 文科相発行 **Let's Try 1,2**

評価 活動として、児童の活動や到達の状況の記述



# 小学校外国語活動・外国語の「今」



# 小学校外国語活動・外国語の「今」

- 令和4年度 墨田区学習状況調査速報

【6年生・外国語】 正答率

**三吾小 89.8%** (墨田区86.9%、全国84.1%)

知識・技能 88.4% (全国81.6%)

思考・判断・表現 92.7% (全国89.6%)

主体的に学習に取り組む態度 91.8% (全国90%)

☆教科担任で、原先生が4年生から指導

# これからの外国語教育

- ご意見・ご質問
- 感想など

